

株式会社スイッチスマイル
事業概要

株式会社スイッチスマイル
位置情報プラットフォーム
「pinable」

株式会社スイッチスマイル
東京都中央区日本橋2-16-4
WORK BASE Nihombashi3階
Tel(03)5545-5985 Fax(050)3737-0495

企業情報

会社名 株式会社スイッチスマイル
代表取締役社長CEO 長橋 大蔵
取締役 野村 逸郎・岡田圭司
設立 2010年7月13日
資本金等 26,250万円（資本準備金を含む）

事業内容

IoTコンサルティング
Beaconオープンクラウドプラットフォーム「pinable」開発・提供
位置情報サービス事業（Beacon・Wi-Fi・GPS）
LINE BOT プラットフォーム「MottoBot」開発・提供

株主構成

長橋 大蔵・創業メンバー・サンデンリテールシステム株式会社（東証一部）・
JBRシステム株式会社（東証一部）・株式会社ベクトル（東証一部）・株式会社
エボラブルアジア（東証一部）・社団法人MAKOTO（福島銀行）・株式会社石
田大成社・町田印刷株式会社・XBANK株式会社

拠点一覧

本店所在地 福島県郡山市緑町9-12三部会計事務所第2ビル1階
東京本社所在地 東京都中央区日本橋 2-16-4
WORK BASE Nihombashi 3F
TEL : 03-5545-5985
その他海外拠点 台湾・インドネシア・タイ・ベトナム
開発ラボ ベトナムラボ Dongnhan Office Building, 90 Nguyen
Dinh Chieu Street, Dakao Ward, District 1, HCMC

経営ビジョン/経営陣

Switch★Smile

ヒト(スマホ)・場所・モノ・情報を
つなぎ空間に新しいバリューを付加する



CEO
長橋大蔵



COO
野村逸郎



CTO
岡田圭司

2010-2012



渋谷区恵比寿西に設立。
スマートフォンにおけるグローバル配信プ
ラットフォーム事業開始。

2014-2016



グローバる展開を開始

2016-2017



LINE@公式代理店契約を締結。LINE@公式
カスタマーコネクト販売代理事業を開始

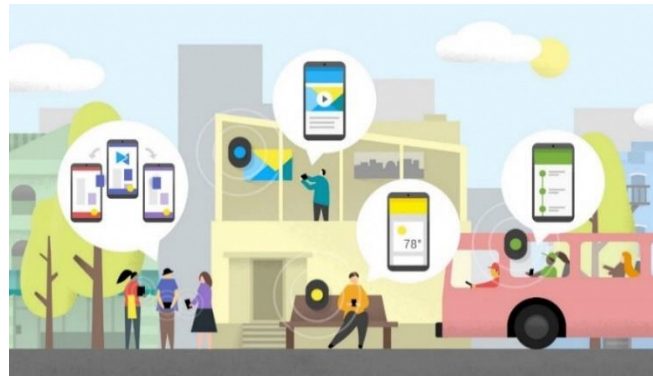
2017-2018



位置情報サービス事業および
Beacon・IoTオープンクラウドプラッ
トフォームの提供開始。

Beacon事業とは

BeaconはBluetoothを発信する端末である
Bluetoothの電波とサーバー上で管理しているbeacon端末の情報から
正確に特定することができ、その位置情報とスマートフォンアプリとの
連携により様々なサービスの提供が可能になります
BLEの進歩によりボタン電池で2年程度動き、端末価格も安いので導入しやすい

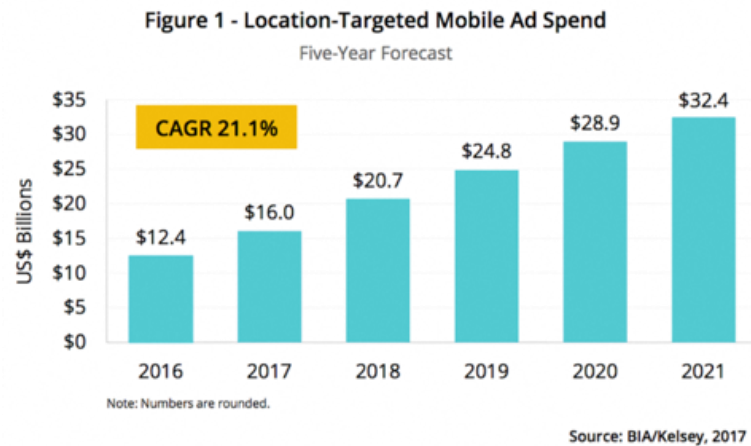


自動販売機やサイネージなどインフラ機器
へのBeaconの導入が進んでいる

情報発信(観光・多言語) : インバウンド対応
クーポン・来店ポイントなどの正確な配布
決済連携システム(決済した人のみのメリット)
O2O(10cm~50mの範囲でプッシュ配信)
ナビゲーション(地下街やショッピングモールなど)
クロスマーケティング
(他業種連携 : カフェとゲームなど)

位置情報マーケティングの高まり

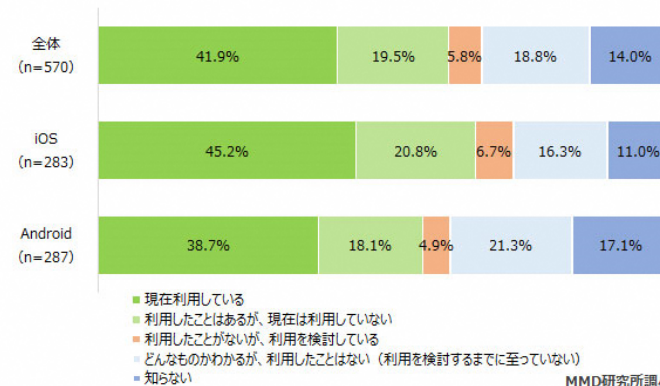
位置情報マーケティング、2021年に3兆5千億円市場へ
DMP市場も、2021年に3兆円超の市場へ



Bluetooth機能の
利用経験は61.4%
現在利用は41.9%



● スマートフォンに搭載されている Bluetooth 機能について



海外での位置情報マーケティングも豊富に

アイスクリームブランドのVan
Leuween(US)位置情報マーケティング



スーパーマーケットの
Whole Foods(US)位置情報マーケティング



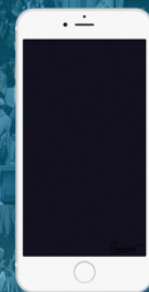
デパートメントストアの
Barneys New York(US)位置情報マーケティング



pinable = Beacon+DMP+Marketing Services



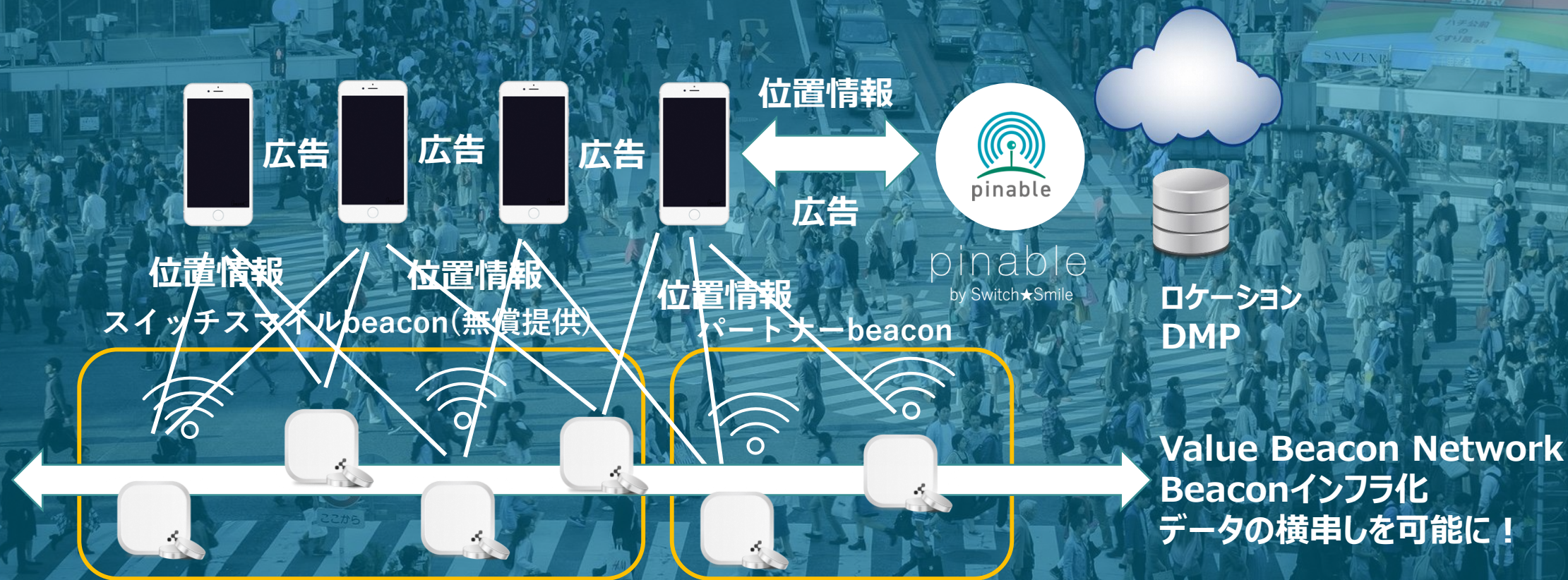
pinable
by Switch★Smile



pinableとは、日本全国に設置された約10万箇所（2019年12月予定）のビーコンから得られる消費者の位置履歴および移動情報などの位置情報を使って企業のマーケティングや広告商品の開発を支援するBeaconプラットフォームです。



Value Beacon Network 構想とは自社で無償で設置するBeaconとアライアンスパートナーが設置するBeaconをネットワーク化し、Beaconのインフラ環境を構築し、サービス提供とデータ取得を横ぐしに可能にするための構想です。

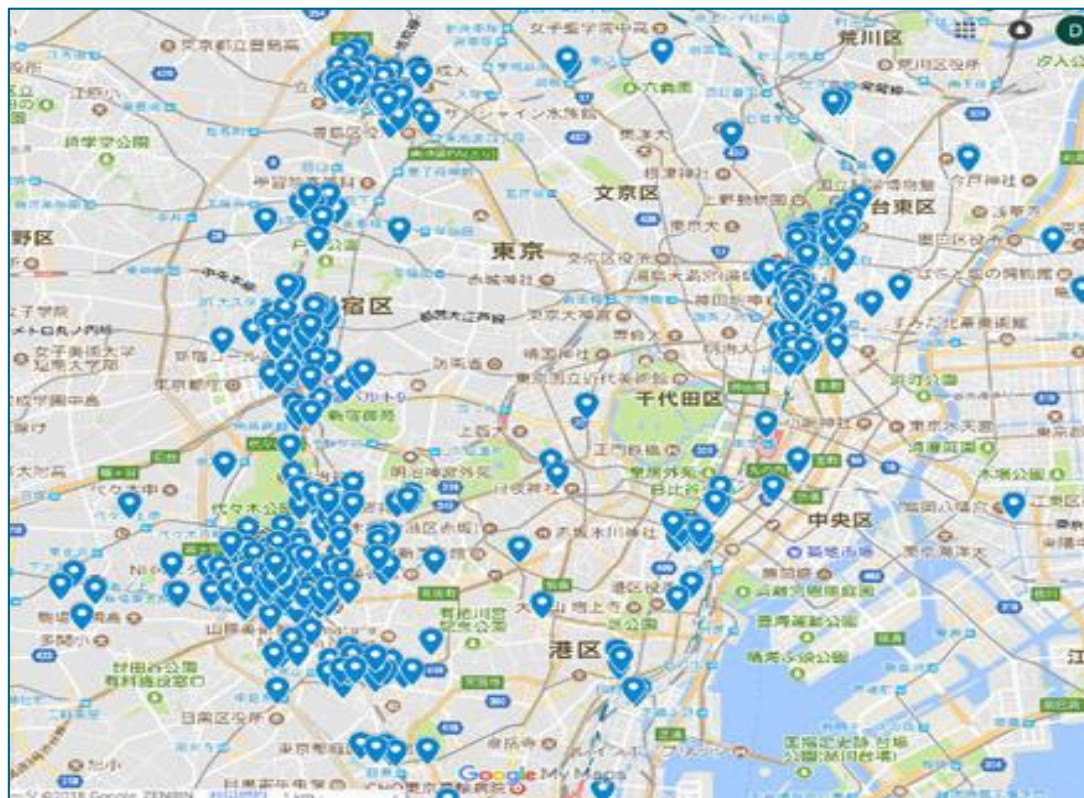


国内外における弊社ビーコンの設置数について

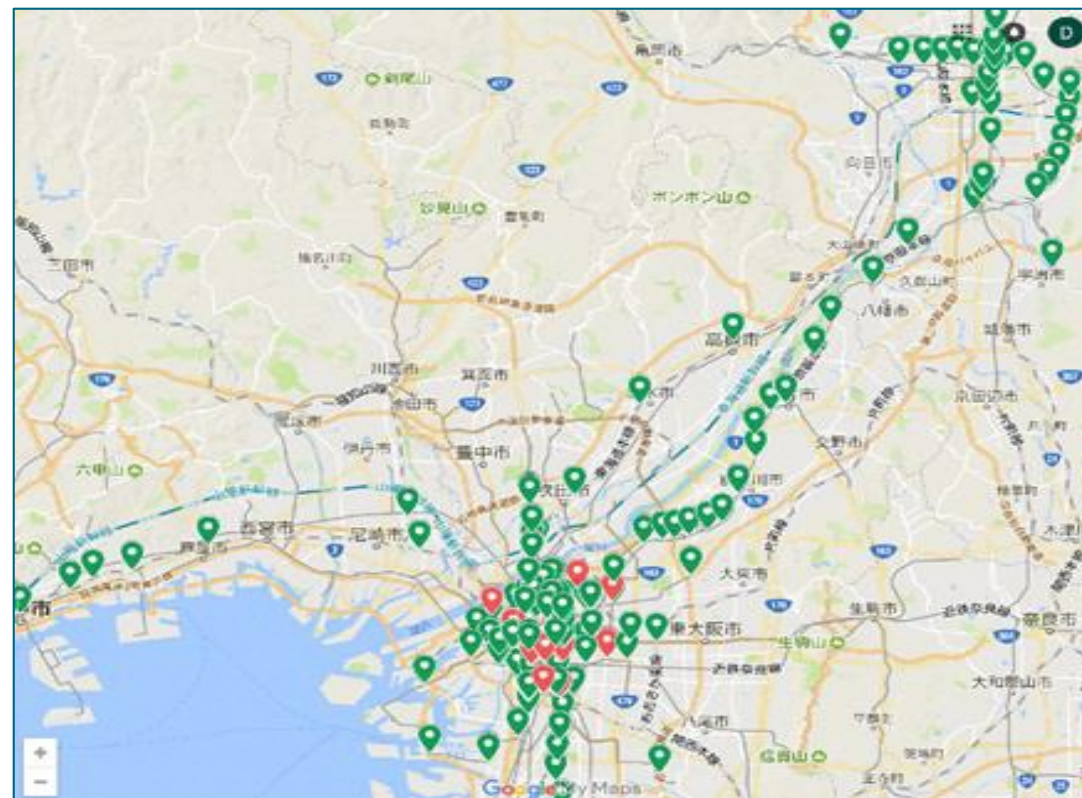
2018年12月現在国内で約10,000個、海外で6,000個のビーコンがプラットフォームに登録されています。

(アライアンス先も含む) 2019年中には全国に約100,000個のビーコン設置を予定しています。

首都圏設置済みBeacon



関西圏設置済みBeacon



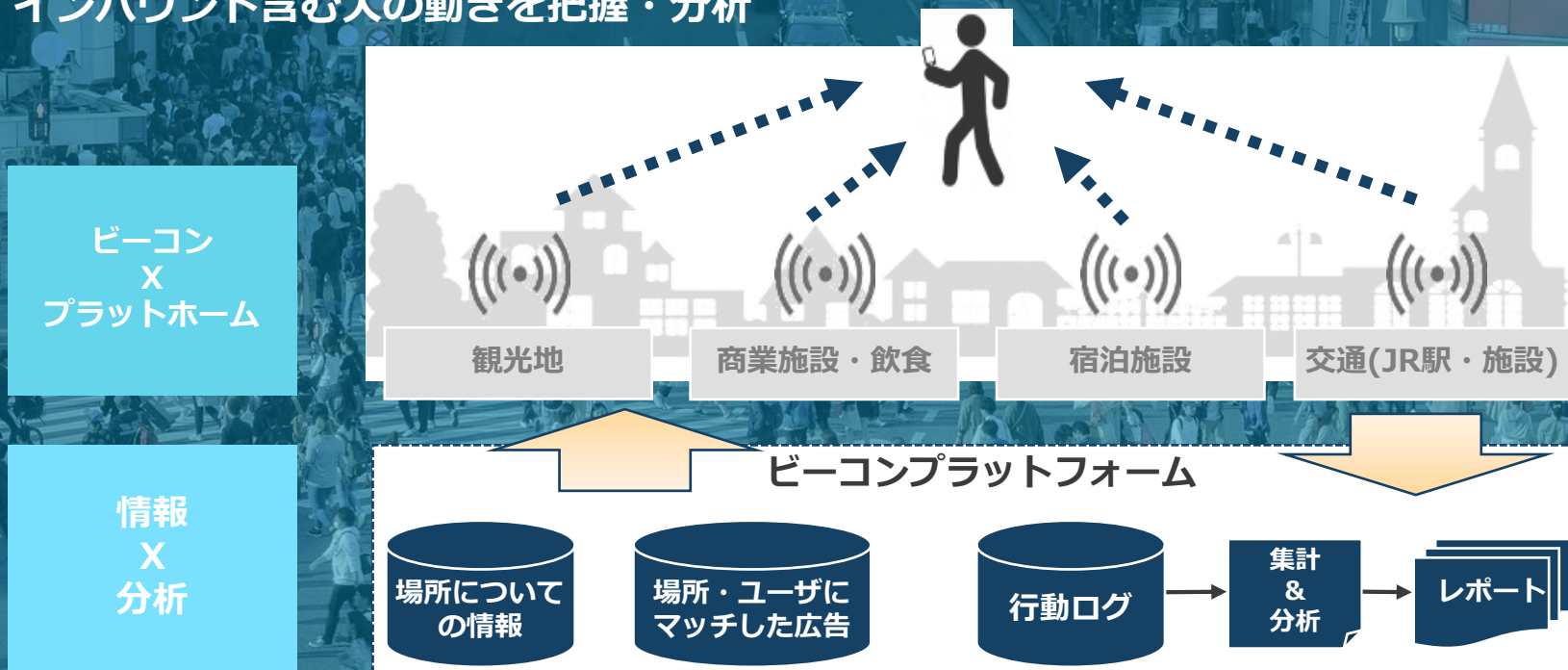


pinable
by Switch★Smile

観光地、商業施設、宿泊施設などエリアを構成する「場所」をビーコンでデジタル化

- 「その場所」についての情報を多言語で配信できる仕組み
- 観光案内や飲食店でのメニューなど、外国人観光客のおもてなしに必須なサービス
- 店舗単位、コンテンツ単位の閲覧レポートを提供

インバウンド含む人の動きを把握・分析



テクノロジーを利用し地域の魅力を発信、新しいO2Oアプローチで
集客、地域ビジネスを応援

Beaconはデジタルサイネージと非常に有効な親和性があります。

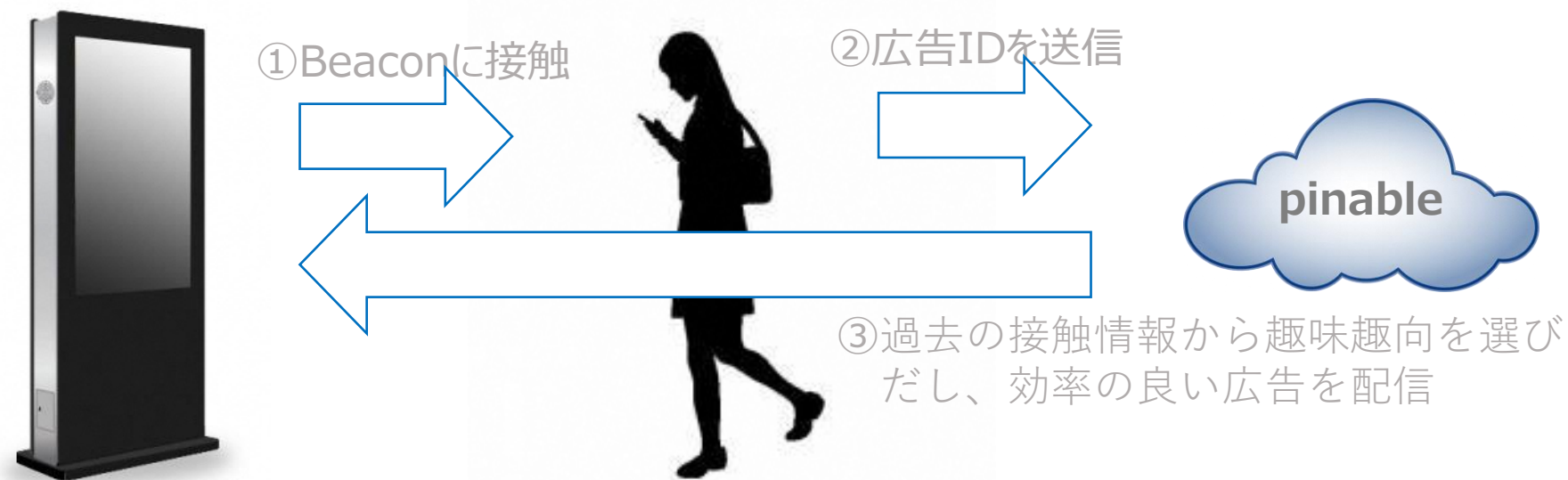
スマートフォンの言語情報を獲得して、瞬時にデジタルサイネージの言語変更が可能です。



- 言語情報を変更する事で、接触した人の興味を持たせる事が可能です。
- インバウンド対応に最適です。
- 言語に合った情報を表示することでサイネージの効率アップが期待できます。

Beaconはデジタルサイネージと非常に有効な親和性があります。

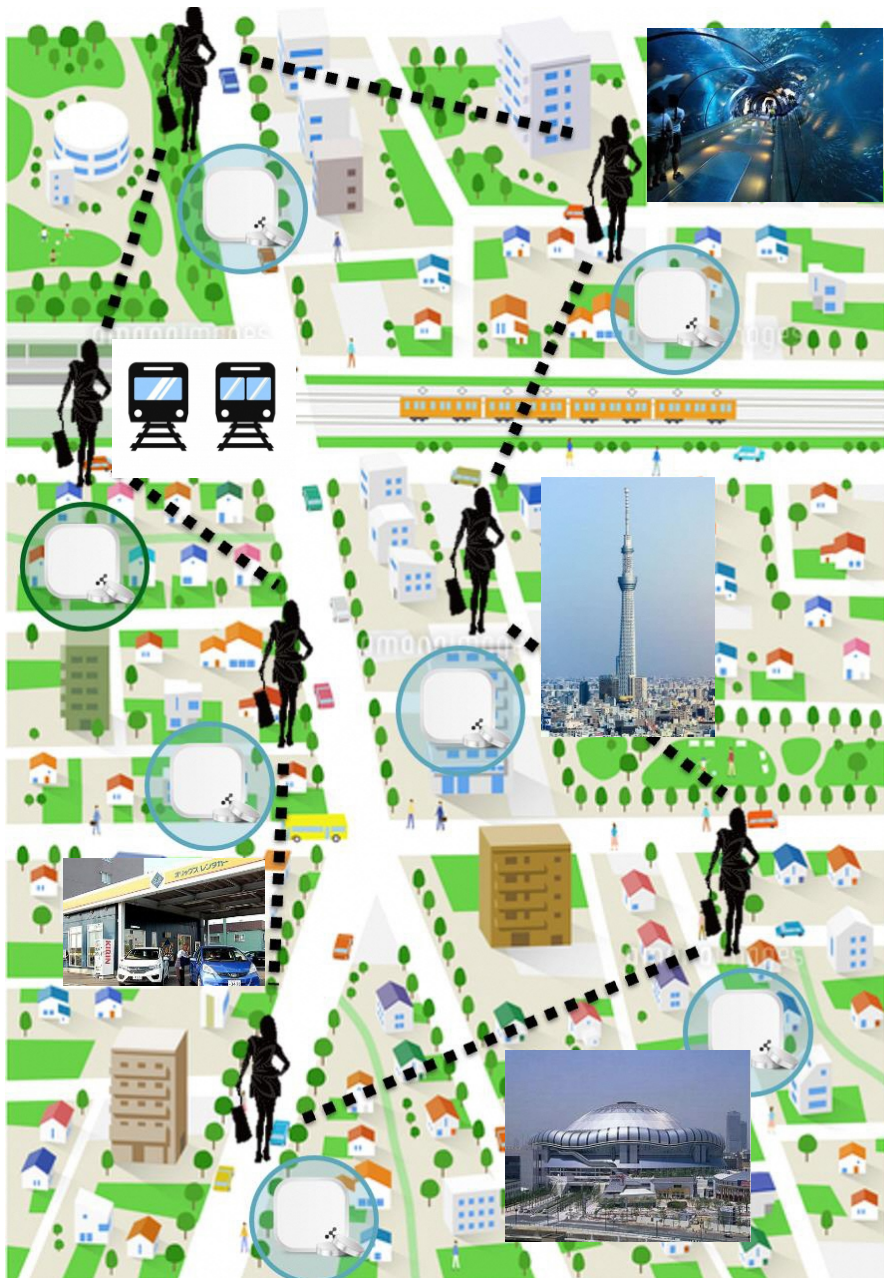
意味情報の蓄積により、接触した人の趣味趣向に沿った広告配信が可能になります。



過去の接触データを検討して、セグメントされた広告の表示が可能です。

<例>

- 20代女性ファッション好き → 若い女性向けブランド広告の表示・スマホにクーポンの配信
- 50代男性ゴルフ好き → ゴルフクラブの新製品情報の表示・スマホにクーポンの配信



収集

街中に設置のpinableビーコンおよびJR各社様のビーコンに接触した顧客の行動情報を収集

蓄積

顧客の行動や趣味嗜好性を
1つのDMPに顧客の行動データを蓄積

分析

蓄積された情報を基に、**顧客の行動を分析**

解釈

分析した情報から、その人の行動を解釈



pinableMarketing活用例



『Pinable_Marketing』を使うことで
店舗に来てくれたユーザーのデータを正確に捕捉し
的確なリターゲティング広告を送り
再来店を促すことが可能になります。

サービスイメージ



リタゲ広告 ➡

- ★今週店舗に来店したユーザー
- ★今週3回店舗に来店したユーザー
- ★今週コスメのコーナーのbeaconに接したユーザー

などユーザーの行動(来店)データを正確に把握しそれぞれのユーザーにマッチしたリターゲティング広告の配信が可能です。

← 再来店



『Pinable_Marketing』では 店舗に来てくれた人の行動データをDMPとして蓄積をし 行動分析やRF分析・来店予測などが可能になります。

サービスイメージ

アプリとbeaconとの接触履歴をDMP化し
CRM(顧客データなど)との連携で行動分析
をはじめRF分析や来店予測など様々な分析が
可能になります。



広告効果を最大化させるための顧客分析
pinable Dashboard (有償版)

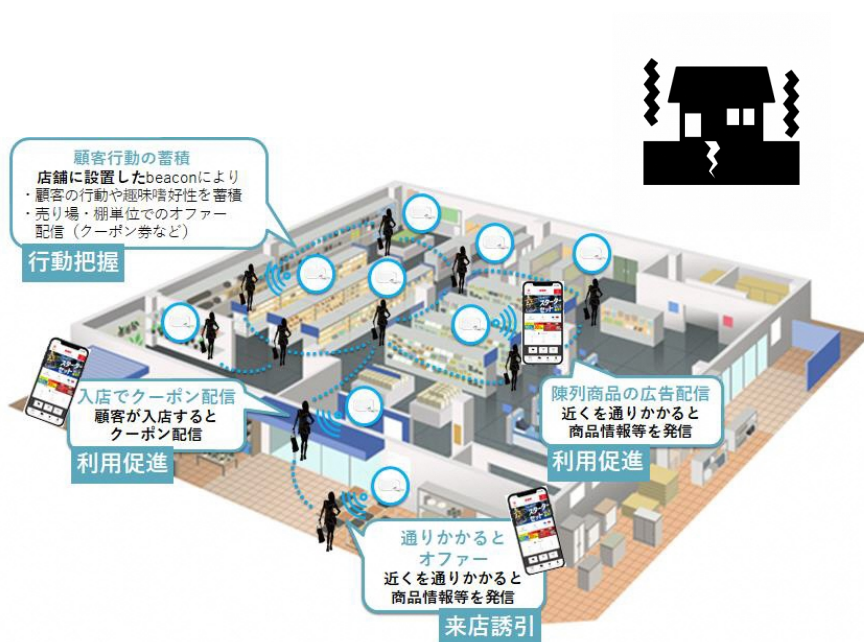
・ダッシュボード画面イメージ (Webブラウザからログイン可能)



※画面表示内容はご要望をヒアリングの上開発させていただきます。

『Pinable_Marketing』を使うことで
災害時には災害情報などを
多言語で配信することが可能になります
社会インフラ店舗として企業のCSR活動に！

サービスイメージ



緊急配信 ➡



災害発生時に管理画面からの情報切替で
Beaconごとに(グルーピング可能)
災害情報や避難情報・鉄道の運行情報などを
多言語で配信できるようになります。

例)

海沿いの店舗→津波の恐れあり高台へ
川沿いの店舗→氾濫の恐れあり川から離れる
電車事故→遅延情報・乗換情報
などを配信することで地域の情報拠点に！